

校訓	盡己	令和5年度学校通信 「松中だより」 第26号	発行日	令和6年1月10日
教育目標	未来を創造、たくましく生きる生徒の育成 ～地域・家庭とのつながりによる レジリエントな学校を目指して～		発行者	伊丹市立松崎中学校 校長 今井 克己

【3学期が始まりました。(始業式 学校長講話)】

14日間の冬休みが終わり、3学期始業式を迎えました。充実した14日間だったでしょうか？

令和6年、2024年が始まりました。今年は年明けから大きな災害や事故があり、被災された方、事故に遭われた方のことを思うと「あけましておめでとうございます。」と言いつらいものがあります。亡くなられた方々のご冥福と一日も早い復興をお祈りしたいと思います。また、「自分になにかできることはないか」を考え、少しでも行動に移すことができればと思っています。

さて、今日から3学期です。

1月5日に2年生の横内先生から「2年生の学年集会では先生方の「今年の一文字」を発表してもらいます。校長先生の「今年の一文字」は何ですか？」と聞かれました。

ここで問題です。私の今年の一文字は何でしょう？

正解は、「創」です。

なぜこの文字かという、理由は2つあります。

1つは今年、松崎中学校は創立50周年という記念の年を迎えます。その意味で「創立」の「創」の文字を選びました。

2つめは「創」は「創造」の「創」です。「創」は「つくる」とも読みます。ただ「つくる」のではなく、「これまでになかったものを新しく作りだすこと。」という意味があります。

先日、みなさんのアンケートをもとに松中の新しいルール「松中生の心得^{つく}」を創りました。これは、今までの先輩やみなさんが、それまでのルールを守り、学習、行事、部活動



に一生懸命取り組み、落ち着いた学校生活送ってきたからできたものです。そういう意味ではみなさんが創り出したものと言えるかもしれません。

「松中生の心得」のことだけではなく、2 学期末に話をした「自律と主体性」を基にした「これからの松崎中学校」を、みなさんで創ってってもらいたい、そして、その経験をもとに、これからの未来、みなさんが生きてゆく社会や世の中をよりよいものに創造してもらいたいという願いを込めてこの字を選びました。

私も「これからの松崎中学校」のために頑張りたいと思っています。よろしくお願ひします。

1, 2年生は今日から52日間、3年生は42日間の3学期がスタートします。あっという間の3学期です。体調管理をしっかりし、悔いのない3 学期を過ごしてください。

【まもなく阪神淡路大震災29年】



今日17日(水)で阪神淡路大震災から29年になります。今、能登半島地震の様子が連日報道されていますが、倒壊した家屋の様子や避難所の様子をみると、当時を思い出します。松崎中学校はその年の3月まで今の会議室が避難所となりました。左の記事は今の3

神戸新聞 2024. 1. 8

年生が昨年神戸校外学習の際に訪れた1.17希望の灯りで行われた分灯の様子です。当時の思いが今の中学生に引き継がれています。

2年生もしっかり事前学習し、この場所がどんな場所なのか、この灯りがどんなものなのかをしっかりと学んで、是非訪れてみてください。